

Aさんの誘いに乗ると、先ず地図でその山を探す作業からはじまる。このあたりかなと見当をつけても大抵は25000地形図にも出てこない。今回も越前大日の近くという。越前大日は稜線から山頂まで快適なツアーができたが、下部は急登の上、藪で難渋した。今回も寡雪であり期待できないだろう。

高速の割引はややこしいが、Aはちゃんと調べてETCカードも2枚持ってきた。八日市と今庄で一旦降りてUターンするという。こんな事を勧める割引制度は間違っている。3割引でもよいから、どこから乗ってもどこまで走っても割引がある方が公平ではないか。社会実験と言うがPRも行き届いておらず不公平感は否めない。だが、背に腹は代えられず、Aの言うとおりに従う。



福井北で降りて勝山の市街から、横倉の登山口を目指す。横倉の地名に昔、山仲間のBと泊まった「あまごの宿」を思い出す。ところがその時、どこに登ったのか思い出せない。白山の帰りか、それとも悪天候で軟弱になりうまいものを食おうと言うことになったのか。若い時の方が贅沢をしていた。

その宿の近くの道端にテントを張り夜中の宴会をする。コンビニのうどんに豆腐を入れると鍋になった。テントの方が落ち着く人間になってしまった。

早朝、登山口に次々と車が上がってきた。なんと20名の地元の団体だった。山スキーでなく歩きだった。名もないと思った山も地元では結構人気があるようだ。

踏み固められないうちにと出発を急ぐ。しばらく林道歩きだが、雪はほぼ繋がっていた。天気予報は曇後雨だったが晴れ間が広がった。八反滝が見え、ショートカットをしながら登っていく。藪もない雪面を快適に進む。後ろから団体が追いかけてくる。尾根はきつくなりトラバースして隣の尾根に乗り移る。地元の団体に追い越されたが、この先、雪は固くなりアイゼンを履いている。疎林だが徐々に急登になる。歩きの方が断然速い。隣の尾根は無木立で下りが楽しみだ。息が上がる頃、稜線に出た。細い尾根を過ぎると広い雪原の山頂だった。白山もスッキリと顔を出し、Aはパノラマの景色をカメラに収める。私は又、カメラを忘れた。

山頂で大休止をしたら滑降だ。狭い尾根を過ぎ、次は無木立ちを目指す。少しくラストしているが慎重に滑る。Aは登りに使った林の中を滑っている。トラバースでは小さな雪崩が起きていた。暖かくてどんどん雪は解けていく。林道に出るともうスキーは使えなかった。雪解けは早い。車に着くころ、雨が降り出した。

帰りの高速でしゃべっていたら、うっかり100Kmを越えてしまい、割引にならなかった。やっぱりこの制度は間違っている！28日からどこまで行っても1000円とか、渋滞や事故が多発するだろう。やはりこれも間違っていると思う。

